

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 グローバル人材育成支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111(内291)

E-mail：c21803@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 130 千円 (前年度予算額： 229 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	229	99	0	0	0	0	0	0	130
要求額	130	0	0	0	0	0	0	0	130
決定額	130	0	0	0	0	0	0	0	130

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

グローバル化、県内在住の外国人の増加を受け、文化に対する正しい相互理解とコミュニケーション能力の向上の必要性がますます高くなってきている。「国際化に対応する人材育成」、「多文化共生」という課題に重点的に取り組むため、関係資料の貸出、相談業務、各種講座を開催し、岐阜県のグローバル人材育成支援、外国人県民の利用促進の手助けとする。

(2) 事業内容

○グローバル人材の育成支援

グローバルコミュニケーション力の一つである英語力向上を支援するための講座を開催するほか、異文化理解、語学学習関連の図書資料を充実させ、職員がレファレンス(調べものの相談)に対応する。また、外国文化に接する機会を創出するための講座を開催することにより、世界に目を向けるきっかけとなる場を提供する。

○多文化共生支援

外国人県民にも利用しやすい図書館となるよう、外国語資料、日本語学習資料の収集などを実施する。また、特にベトナム人の人口が増加していることから、ベトナム・フエ省の図書館と情報交換などをし、県内在住のベトナム人の読書支援をするとともに、日本人利用者にベトナムの文化などを知ってもらう機会を設け、相互理解の一助とする。

(3) 県負担・補助率の考え方

中核図書館として県において実施することが妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	0	講師謝金
旅費	5	講師旅費
需用費	50	消耗品費、会議費
役務費	15	通信運搬費
委託料	60	業務委託料
合計	130	

決定額の考え方

--

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- 第4次岐阜県教育振興基本計画（2024～2028年度）
 - 施策Ⅰ-1 多様な人とのつながり、関わる力の向上と心の教育の充実-⑥読書活動の推進
 - 施策Ⅱ-11 国際理解教育の充実とグローバル社会で活躍できる力の育成
 - 施策Ⅳ-22 多文化共生社会を目指した外国人児童生徒等の教育の充実
- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023～2027年度）
 - 政策の方向性1-(2)③グローバル社会に対応した教育の展開
 - 1-(3)③外国籍の方も活躍できる社会の確立

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

ニーズの高まりのある「国際化に対応する人材育成」、「多文化共生」という課題に重点的に取り組むため、海外情報コーナー・海外教育コーナーにて、関係資料の貸出、相談業務を行う。

また、各種講座や外国の文化等を知る機会を創出し、岐阜県のグローバル人材育成支援及び多文化共生支援の手助けとする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①海外情報コーナー貸出冊数	9,767冊	6,226冊	9,500冊	9,660冊	10,000冊	62.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・感染拡大に留意しながら、英語多読講座等の催事を開催。語学学習を必要とする県民に学習の機会を提供し、図書館資料を紹介、貸出することで、学びを深めることにつながっている。 ・入国制限緩和以降、外国籍利用者の来館も増え、日本語学習資料等の貸出も増えつつある。
	指標① 目標：9,500冊 実績：8,221冊 達成率：86.5%
令和5年度	・新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、従来どおりの形式で図書館サービスや催事を実施でき、外国文化講座、講演会等に多数の参加を得ることができた。 ・英語多読資料は継続的に利用があり、英語多読講座や関連資料の収集の効果がみられる。
	指標① 目標：9,500冊 実績：7,270冊 達成率：76.5%
令和6年度	・外国文化講座は子どもから大人まで多様な年齢層の参加があり、関連資料の紹介とともに学ぶきっかけとなっている。 ・貸出実績は前年度より減少したが、電子書籍の言語分野（8類）の閲覧件数は2,454件となり、紙媒体の資料と合わせて語学学習や英語多読資料のよりどころとして定着している。
	指標① 目標：9,500冊 実績：6,226冊 達成率：65.5%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	県内在住外国人は引き続き増加傾向にあり、外国籍の児童生徒が多く在籍する学校や、国際的に活躍する人材を育成するための教育に力を入れている学校への支援体制の強化、多文化共生社会に対応した図書資料の収集、外国人県民への図書館利用支援は必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	貸出冊数の増加は見られなかったが、関連講座には積極的な参加がみられ、満足度も高い。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	グローバル人材育成の観点と子どもの読書活動推進計画を踏まえ、海外文化講座は小学生対象として力を入れる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 海外との覚書に基づく交流の促進、多文化共生の推進が図書館にも望まれており、図書館を利用する県民に継続的にそれらの機会を提供することが必要である。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 関連コーナーの資料の充実を図ること、語学力習得や外国文化を理解するための講座を開催することで、グローバル人材の育成に継続的に取り組む。 また、外国人県民やその支援者をターゲットにした事業を展開することで、多文化社会を支える基盤の一部となる。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	